

NY マーケットレポート (2017 年 9 月 19 日)

NY 市場では、欧州市場からの流れを引き継ぎ、ドル円・クロス円は序盤から軟調な動きとなった。米国の FOMC の結果発表を控えて様子見ムードが強まる中、序盤に発表された米国の住宅関連、物価関連の経済指標がまちまちの結果となったことから、反応は限定的となった。その後は、米国債利回りが上昇となり、長期金利の指標となる 10 年債利回りが約 1 ヶ月ぶりの 2.24% 台まで上昇したことを受けて、日米の金利差拡大が意識され、ドル買い・円売りが優勢となった。ただ、ドル円・クロス円は、上昇一服後上値の重い動きが続いた。

2017年 9月19日 (火)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	111.70	111.88	111.38
EUR/JPY	133.97	134.17	133.23
GBP/JPY	151.13	151.60	150.44
AUD/JPY	89.22	89.28	88.73
EUR/USD	1.1994	1.2006	1.1950

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	20299.38	+389.88
ハンセン指数	28051.41	-108.36
上海総合	3356.84	-6.01
豪ASX200	5713.58	-7.02
インドSENSEX	32402.37	-21.39

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	7275.25	+21.97
仏CAC40	5237.44	+8.12
独DAX	12561.79	+2.40

米国主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	22370.80	+39.45
S&P500	2506.65	+2.78
NASDAQ	6461.32	+6.69

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	111.55	111.83	111.21
EUR/JPY	133.80	133.88	133.28
GBP/JPY	150.88	151.00	150.15
AUD/JPY	89.35	89.49	88.95
EUR/USD	1.1995	1.2006	1.1961

南北米主要株価	終値	前日比
トロント総合	15292.97	+56.30
ボルサ指数	50265.46	+7.04
ボベスパ指数	75974.19	-16.22

*一部暫定値

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1310.60	-0.20
NY 原油	49.48	-0.43

9/20 経済指標スケジュール

08:50 【日本】8月貿易収支
 09:30 【オーストラリア】8月ウエストバック先行指数
 10:00 【オーストラリア】8月DEWRインターネット求人指数
 15:00 【ドイツ】8月生産者物価指数
 16:00 【日本】8月コンビニエンスストア売上高
 17:00 【南アフリカ】8月消費者物価指数
 17:30 【英国】8月小売売上高
 20:00 【米国】MBA住宅ローン申請指数
 23:00 【米国】8月中古住宅販売件数
 23:30 【米国】EIA原油在庫
 03:00 【米国】FOMC政策金利

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.40%	1.39%
3年債	1.54%	1.54%
5年債	1.83%	1.83%
7年債	2.07%	2.06%
10年債	2.25%	2.23%
30年債	2.81%	2.80%

ドイツ10年債	0.45%	0.46%
英国 10年債	1.33%	1.30%

9/20 主要会議・講演・その他予定

- ・安倍首相がNY証券取引所で経済スピーチ
- ・安倍首相が国連総会で一般討論演説
- ・イエレンFRB議長 定例会見

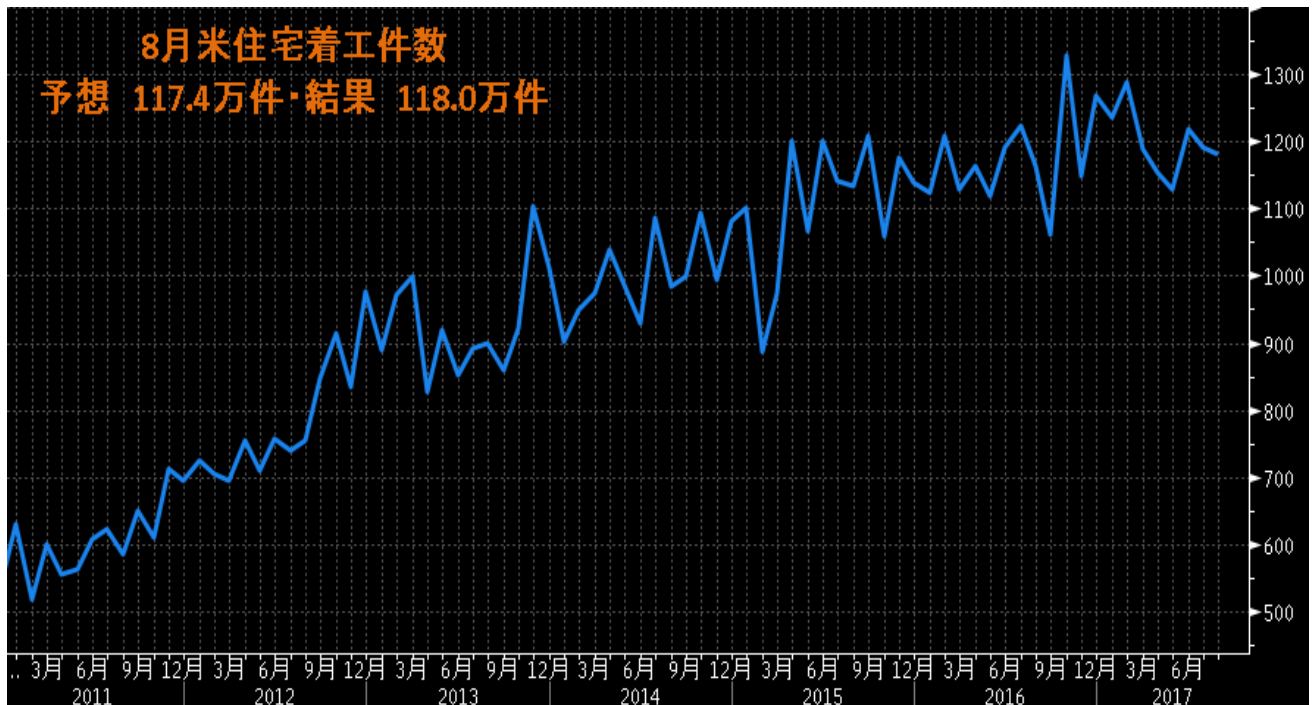
NY 市場レポート

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

8 月米住宅着工件数 118.0 万件 (予想 117.4 万件・前回 119.0 万件)
前回発表の 115.5 万件から 119.0 万件に修正

8 月米建設許可件数 130.0 万件 (予想 122.0 万件・前回 123.0 万件)
前回発表の 122.3 万件から 123.0 万件に修正



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

経済指標データ

＜米住宅着工・許可件数＞

8月・・7月・・6月・・5月・・4月・・3月
 住宅着工件数・・118.0・・119.0・・121.7・・112.9・・115.4・・118.9
 一戸建て住宅・・85.1・・83.8・・85.7・・79.5・・82.3・・82.4
 集合住宅・・32.9・・35.2・・36.0・・33.4・・33.1・・36.5

許可件数・・130.0・・123.0・・127.5・・116.8・・122.8・・126.0
 一戸建て住宅・・80.0・・81.2・・81.1・・77.9・・79.4・・82.6
 集合住宅・・50.0・・41.8・・46.4・・38.9・・43.4・・43.4

前月比 (%)

住宅着工・・-0.8・・-2.2・・7.8・・-2.2・・-2.9・・-7.7
 住宅建設許可・・5.7・・-3.5・・9.2・・-4.9・・-2.5・・3.4

8月の米住宅着工件数は、年率換算で前月比-0.8%の118万件となった。また、前年比では+1.4%だった。一戸建て住宅は増えたが、集合住宅は引き続き落ち込んだことが影響した。一方、着工件数の先行指標となる建設許可件数は、前月比+5.7%の130万件、前年比は+8.3%だった。今回の住宅着工件数では、ハリケーンで被災したテキサス、フロリダ両州でデータ収集が通常の水準を下回った。ハリケーンの影響で向こう数カ月間、住宅着工件数の統計には変動が生じる可能性がある。

21:30

＜経済指標の結果＞

8月米輸入物価指数(前月比) 0.6% (予想 0.4%・前回 -0.1%)
 前回発表の0.1%から-0.1%に修正

8月米輸入物価指数(前年比) 2.1% (予想 2.2%・前回 1.2%)
 前回発表の1.5%から1.2%に修正



出所: Bloomberg

指標結果データ

《米輸出入物価》

	8月	7月	6月	5月	4月
全輸入	0.6	-0.1	-0.2	-0.1	0.2
石油	4.8	-0.4	-3.9	-0.7	-0.7
除く石油	0.3	-0.1	0.1	0.0	0.3
食品・飲料等	0.3	-0.1	1.1	1.0	0.4
資本財	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0
自動車・部品	0.2	-0.2	-0.2	0.1	0.5
消費財	0.1	0.0	0.0	-0.1	0.1
全輸出	0.6	0.5	-0.1	-0.6	0.2
農業	0.1	1.9	-1.4	-1.6	0.1
非農業	0.7	0.3	0.0	-0.4	0.3
食品・飲料等	0.1	2.3	-1.5	-2.0	0.5
資本財	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
自動車・部品	0.2	0.0	-0.1	0.0	0.2
消費財	0.2	0.5	0.2	0.1	0.3

8月の米輸入物価指数は、前月比+0.6%となり、市場予想の+0.4%を上回った。前年比では+2.1%となった。エネルギーの上昇が影響した。石油・石油製品は、前月比+4.8%、前年比は+15.8%。石油以外では、+0.3%、前年比は+1.0%。品目別では、原油が+4.2%、食品は+0.3%、自動車・同部品は+0.1%だった。輸入元では、中南米からの輸入価格が+0.6%、EUが+0.8%、カナダが+1.4%、中国は横ばい、日本-0.5%となった。一方、輸出物価は、前月比+0.6%、前年比は+2.3%。農産物が+0.1%、前年比で+1.9%。農産物以外では、前月比+0.7%、前年比では+2.4%だった。

21:30

《経済指標の結果》

2Q米経常収支 -1231億USD（予想 -1160億USD・前回 -1135億USD）

前回発表の-1168億USDから-1135億USDに修正



4-6月期の米経常収支の赤字額は、前期比+8.5%の1231億3700万ドル（約13兆7400億円）となった。経常赤字のGDP比率は2.6%で、前期から0.2ポイント上昇した。モノとサービスを合わせた赤字額は-0.6%の1373億1300万ドルとなった。

23 : 25

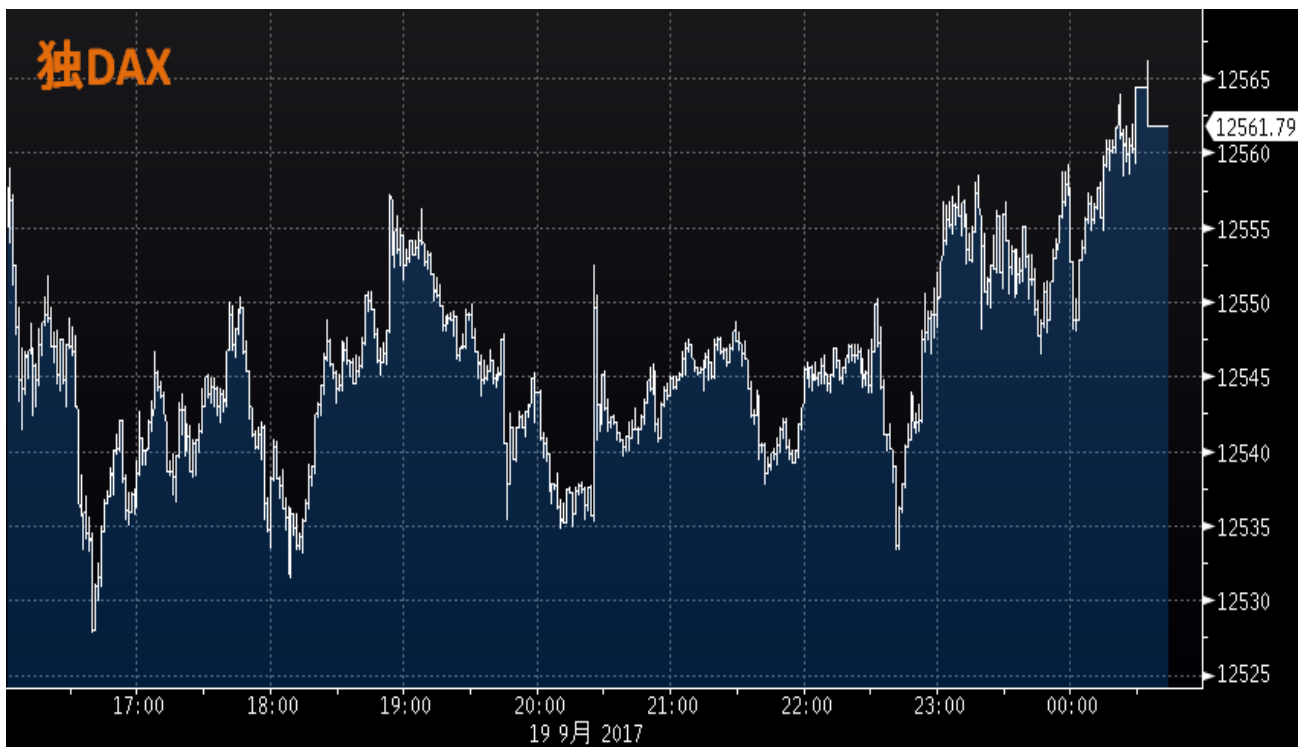
《 要人発言 》

トランプ米大統領～国連総会

- ・「企業は米国に戻りつつある」
- ・「米国は軍事行動の用意、意志、能力がある」
- ・「北朝鮮に軍事行動を取る必要がないことを望む」
- ・「制裁に賛同した中国とロシアに謝意を表明」
- ・「北朝鮮に対しはるかにもっと多くの措置が必要」

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、米 FOMC の結果発表を控えて全般的に様子見ムードが強まり、主要株価は小幅続伸となった。



出所 : Bloomberg

＜ NY 原油市場 ＞

NY 原油は、中心限月が前日比 0.43 ドル安の 1 バレル＝49.48 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、20 日に発表される米石油在庫統計で原油在庫の増加が見込まれることから需給の緩みが意識され、売りが優勢となった。ただ、OPEC と非加盟国による協調減産の延長に対する期待が下支え要因となり、下げ幅は限定的となった。



出所：Bloomberg

＜米株式市場＞

米株式市場は、FOMC の結果公表を控えて様子見ムードが出ており、主要株価は序盤から小動きの展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、午後に取引時間中の最高値を更新したが、上げ幅は限定的となった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、欧州市場の流れを引き継ぎ、ドル円・クロス円は序盤から軟調な動きとなった。その後は、米国のFOMCの結果発表を控えて様子見ムードが強まる中、米国債利回りが上昇したことでドル買い・円売りが優勢となり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ただ、上げ一服後は上値の重い動きとなった。



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。